

ることを選びました。

AGSM卒業後は再び日産に戻って、北米本社で次世代商品企画、東京本社でアジア危機後の現地事業建て直し、ルノーとの戦略提携など、大変やりがいのある仕事に恵まれましたが、縁あって証券アナリストに転じました。私にとって自動車業界担当の証券アナリストは、AGSMで学んだスキルと日産での実務経験のシナジーをフルに活かして、自動車業界と資本市場との橋渡し役として貢献できる絶好の立場と考えています。

同じ自動車業界を見ているのに、機関投資家の立場からと自動車会社の立場からとでは、温度差があることが間々あります。投資家は、(期間に長短はありますが)限られたタイムフレームの中での投資と回収を行なってリターンを追求するのに対して、自動車業界は事業の永続性や長期に渡る成長を志向する一方で、雇用など地域経済への貢献もおろそかに出来ません。自動車会社も資本主義下の株式会社ですから、株主価値の極大化や株主への利益還元は当然のことです。しかし、実際に事業活動を営むものは、四半期や今期・来期といった目先の業績さえ上げれば良いと言うわけではありません。環境対応車や新興国開拓に向けた廉価車など、短期的には収益が優れていなくても、規制への対応力強化や将来の成



長機会確保の先行投資といったそれぞれの観点から、それらは直ちに組み込んでいかなければいけない課題です。

私は、機関投資家と自動車会社が相互理解を深めることで適正な株価形成が促されて、ひいては投資対象としての自動車会社の魅力が増すことを望んでいます。自動車会社が更に世界へと大きく羽ばたいていくことで、自動車会社とそこに資金を投じる

投資家の双方に微力ながら貢献できればと思って日々の仕事に取り組んでいます。

(UBS証券会社 株式調査部シニアアナリスト、
e-mail: tatsuo.yoshida@ubs.com)

UCLA本校のJapan Student Association (JSA)の紹介



JSA Presidentの森エミリーさん(Emily Mori Bialock)からの投稿

JSAは、4月にオフィサー交代を経て、新オフィサーたちで春学期を盛り上げていきました。今日は前学期の出来ごとや、これからの活動を紹介していきたいと思います。

●文化の交流

JSAは、日本に興味のあるアメリカの学生と日本人の交流を行うために、「Cultural Exchange Meeting」を定期的で開催しています。毎学期3回を目指して開催しているこのイベントでは、アメリカの学生に日本語を練習できる場を提供し、日本人学生にもまた、アメリカの学生と仲良くなる機会を提供しています。クイズなどを通して日本の文化を学び、語り、食事をし、最終的には談笑になって解散します。中にはご飯目当てで参加する人もいます。

●キャリアサポート

日本人学生にとって就職は大切。そこでJSAは日本人学生の就職活動を手伝えるよう、キャンパス内での企業説明会や採用選考会、メーリングリストを利用した採用情報の告知などをおこなっています。また、学外から専門家を招いてセミナーや勉強会なども予定しています。そして、JSAキャリア系最大のイベントである、



キャリアセミナーで行われた内定者によるパネルディスカッション